

住民参画型活動のマネジメント —兵庫県立有馬富士公園—

KS
DP 関西大学
戦略的研究基盤
団地再編
リーフレット
Re-DANCHI leaflet

文部科学省 私立大学 戦略的研究基盤形成支援事業
『集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究』

MARCH 2014
VOL. 147



キッピー棚田くらぶ



ガキっこクラブ



子育て支援グループキララ



さんだ天文クラブ

有馬富士公園の概要と住民による活動

有馬富士公園（179.5ha）は、兵庫県三田市の緑地帯に位置する県立公園である。2001年4月の開園以来、年間80万人の来場者数を誇るこの公園は、県内でもトップ10に入る動員数があり、三田市民を中心に親しまれている。住民は阪神淡路大震災当時、近くの公園に避難した経験から、公園を日常的に利用していることの重要性を改めて認識し、兵庫県は住民参画型公園の取り組みを始めることとなった。

「夢プログラム」は、住民が主体的に企画・運営するプログラムである。公園開設当時から住民が公園運営に関わることを促す仕組みとして稼働している。

住民の主体性を重視する参画型活動

この公園では、「みんなでつくるふるさと公園」をめざし、県立の都市公園ではじめて運営計画を策定し、夢プログラムというしくみを通じて住民参画型の運営を行っている。住民は、自分の得意な技、伝えたいこと、好きなことを夢プログラムという形にして、年間約6万人の来園者を楽しませている。

また住民は、夢プログラムを実施するまでに、公園関係者と調整し、グループの仲間とも相談するといったプロセスで、話し合いで折り合いを付けるなどさまざまなノウハウを蓄積している。住民が主体性をもって公に関わるしくみづくりは、地域再編にも欠かせないものである。本稿では、どのようなしくみづくり、マネジメントのノウハウが住民の関わりを主体的なものにして継続できたかを示していく。

1. 有馬富士公園の概要

公園は三田市の山間部を少し切り拓いた場所で、福島大池や、名前の由来になった有馬富士が中央に位置しており、自然に囲まれた公園である。出合いのゾーン、シンボルゾーン、休養ゾーン、あそびの王国と、場所によって性格が分かれている。

園内には柵田や水辺、草地などの各生態圏での生き物観察に最適な場所や、日本の伝統的な住まいを伝承するかやぶき屋根の民家がある。自然学習センターや、ホールなどの施設も充実している（図1、2）。

2. 開園前の取り組み

開園の2年前から、県が日本造園



図1. 有馬富士公園



図2. 有馬富士公園の全域マップ

学会に委託する形で、運営計画を策定した。これは、県内都市公園では初めてのことである。そして開園一年前から人づくりのための勉強会がスタートし、「住民参加は必要か？」という根本的なテーマから始まり、どのような仕組みが住民参加を可能にするかを検討した。

○運営・計画協議会

公園開設半年前から、運営・計画協議会が始まった。協議会は、公募住民、学識経験者、兵庫県、兵庫県教育委員会、指定管理者、三田市、三田市教育委員会、人と自然の博物館などで構成されている。協議会の役割は、部会からの提案に対して評価・審議し、課題や工夫すべき点などを提示し、オーソライズすることである。

○部会

住民参画型公園運営の展開を図るため、協議会の下にワーキンググループが構成された。

「コーディネーション部会」がプログラムサポートなど運営関連、「場

所づくり部会」が計画関連のサポートを行っている（図3）。

3. 「夢プログラム」

「夢プログラム」は「コーディネーション部会」の前身である



図3. 協議会と部会の関係

「きっかけ・人づくり部会」の段階で企画したしくみである。住民の特技や趣味を活かしたプログラムで来園者を楽しませる形で、公園運営に参画している。夢プログラムは、二人以上の住民グループが企画、運営すること、一般来園者に開放すること、営利第一目的ではないことを条件としており、住民と施設職員との協働、住民同士の新たな交流、企画力、運営力の向上が効果としてあらわれている。

2012年度は、31のグループが119のプログラムを約5万8千人の来園者に提供している（表1）。これらのプログラムによって、新たなコミュニティが生まれ、住民は公園に対する愛着を深めている。

4. 団体・活動の紹介

・キッピー柵田くらぶ（表紙）

柵田で自然観察会をしたのがきっかけで米作りをはじめたグループ。作業は大変だが、子供たちに農作業の事、豊かな自然の中で楽しんで欲しいと考えて継続している。

表1. 夢プログラムの参加数や実施日数

年度	プログラム数	プログラム実施日数	当日スタッフ数	参加者数	活動グループ数
2001/h.13	60	104	998	18,089	22
2002/h.14	43	191	1,033	27,896	22
2003/h.15	56	461	1,213	52,396	25
2004/h.16	78	626	1,785	43,764	28
2005/h.17	86	526	1,913	46,245	30
2006/h.18	119	569	2,249	50,060	33
2007/h.19	108	686	2,686	50,376	31
2008/h.20	113	882	3,270	53,615	31
2009/h.21	103	736	2,301	54,310	31
2010/h.22	106	677	2,565	54,587	31
2011/h.23	136	993	3,046	56,945	31
2012/h.24	119	1,250	2,486	58,852	31



図 4. 自然の学校



図 5.NPO 里山レンジャー



図 6. 緑の環境クラブ



図 7.SAP Green Club



図 8.NPO 法人キッピーフレンズ



図 9. しちよう



図 10. トライアングル



図 11. 風流人倶楽部アリエッタ



図 12. メケ・アロハの会

・自然の学校（図 4）

最上段の棚田で古代米づくりに取り組むほか、園内を回遊する自然観察ハイキングなど多様なプログラムを実施している。

・NPO 里山レンジャー（図 5）

最下段の棚田で米作りを行う他、里山再生活動、虫の観察会や標本作りなど多様なプログラムを実施。

・さんだ天文クラブ（表紙）

三田市立野外活動センターにある天文台を活動拠点にするグループ。太陽の観察をしながら、太陽熱で、お湯を沸かしコーヒーをサービスするプログラムなどを行う。

・緑の環境クラブ（図 6）

三田の里山をみんなで守ろうと発足したグループ。定期的に里山保全活動などを行いつつ、公園では子供たちに里山の恵みを活かしたクラブトなどを実施している。

・SAP Green Club（図 7）

自然の素材を用いたクラフトの他、園芸療法のノウハウを生かし、高齢者を対象とした花壇づくりのプログラムもこなす。レイズドベッドもあるこのコーナーが活動拠点である。

・子育て支援グループキララ（表紙）

既に地域で子育て支援活動中。公園では子育てに頑張るお母さんに楽しんでもらうためにお母さん対象に託児つきプログラムを実施している。

・ガキっこクラブ（表紙）

人と自然の博物館の養成を受けた後、自立したグループ。毎月第4日曜日は「ガキクラの日」としてあそびの王国で「本気で遊ぼう」をモットーに多様なプログラムを開催している。

・キッピーフレンズ（図 8）

前身である「サンダ・バード」有志が公園開園時から工夫いっぱいのガイドツアーの夢プログラムを実施。のちに学習センターの展示交流員として「キッピーフレンズ」設立。2007年からは運営の一部を担う指定管理者となる。

・しちよう（図 9）、トライアングル（図 10）、風流人倶楽部アリエッタ（図 11）、メケ・アロハの会（図 12）

パークセンターのホールを使う団体。ホールは音響が良く、駐車場が無料のため非常に人気がある。合唱や演奏、踊りなどを実施している。

5. 公園利用の地域特性

住民グループがプログラムを実施するためには、何度も公園に足を運ぶことが必要である。公園の近くに巨大なニュータウンがあり、多くの

人が訪れやすい環境があることは、有馬富士公園の地域特性といえる。

6. 住民参画型公園運営のきっかけづくり

「夢プログラム」は住民の主体性を重視したツールであり、住民が継続して実施できることが重要である。

住民の趣味や特技を、公園を舞台に来園者と共有し、発展させていく活動は、コミュニティの強化や、場所への愛着にもつながる。一つのプログラムを楽しんでやり終えた住民は、「次はあんなことがしたい！」とさらに積極的に運営側で公園との関わりを深める。

図 13 にみられるように、住民の主体性を重視した自主運営型と、行政依存型によるマネジメントのやり方では、コーディネートにかかる担当者の仕事量の負担に大きな差が生まれる。自主運営型は、グラフのように、初期段階でコーディネーターの負担が大きいですが、長いスパンで考えると、負担が減っていくようになっている。それに対して行政依存型は、担当者が中心となって活動が進むので、時間が経ち対象人数が増えるほど担当者の負担は増えていく

ことが自明である。この点から見ても自主運営型の利点がうかがえる。

コーディネーター側は、住民主体での運営を継続するために、予期できない混沌としたプロセスを経る覚悟をする必要がある。目標をしっかりと定めること以外は、どの方法がその目標を達成するための手段かはわからないのである。予算の年度ごとに、住民組織ができたりしなくても、住民の意識が公園に対する愛着が深まる方向に変化しているかどうかを見極められるように、住民の活動に寄り添う形で支援することが重要である。

7. 現場から提案できるシステム

コーディネーション部会は、図 14 のように学習センターやパークセンターの現場職員、住民に関わる第一線を担当するメンバーで構成されている。協議会がなければ、現場からの提案は通常の起案システムのなかで実現しない可能性も高いが、協議会があることで現場メンバーによって構成されるコーディネーション部会から直接協議会に提案され、

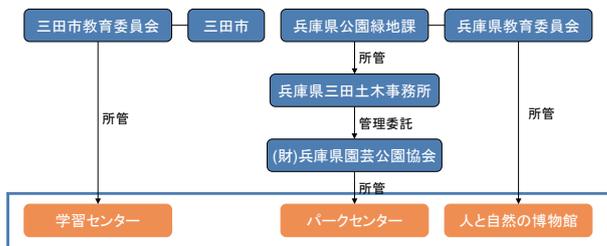


図 14. コーディネーション部会の位置づけ

住民参画型運営に有益である事業はオーソライズされることになる。

8. まちづくりに活用できるノウハウ

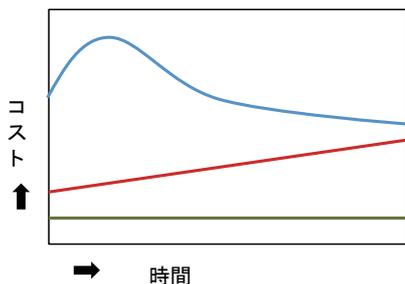
プログラム実施で体験した、小さな合意形成や小さな意思決定、リーダーの発掘方法、行政や専門家との付き合い方、異なる立場の人たちとの付き合い方など、公園の住民参画にむけた様々な活動の経験は、まちづくりに取り組む際のノウハウとして活用できるだろう。

9. おわりに

公園での住民参画型マネジメントには、地域の特性によってさまざまな形が考えられるだろう。有馬富士公園における「夢プログラム」というしくみは、住民の意識を運営側の意識に変化させた点で有効であったが、公園内の活動に留まっており、公園がある地域へ活動が拡大すること、夢プログラムを担うメンバーが地域にかえって、公園で得たノウハウを地域活動に活かすことなどは、今後、多いに期待されることである。協議会が支援すべき課題といえる。

ただ、約 30 の住民グループが有馬富士公園を自分たちの公園だと愛着をもち、来園者のために工夫を重ねる現象はパークライフを豊かなものにしていくといえる。

自主運営型



行政依存型

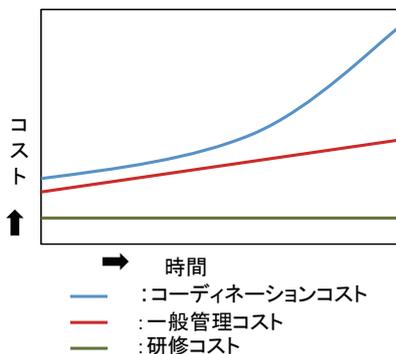


図 13. ボランティアコーディネーションのあり方とコストの構造の変化
(出典：第 2 回有馬富士公園運営・計画協議会 (2000 年度) 資料)

『住民参画型マネジメント－兵庫県立有馬富士公園－』

レクチャー：藤本 真里 (兵庫県立大学 / 自然・環境科学研究所)
記録・作成：芦田 康太郎 (関西大学大学院 博士課程前期課程)
倉知 徹 (関西大学 先端科学技術推進機構)

(講演：2013 年 11 月 27 日)

本リーフレットは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「集合住宅「団地」の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究(平成 23 年度～平成 27 年度)」によって作成された。

発行：2014 年 3 月

関西大学
先端科学技術推進機構 地域再生センター
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号
先端科学技術推進機構 4F 団地再編プロジェクト室
Tel : 06-6368-1111 (内線 : 6720)
URL : <http://ksdp.jimdo.com/>